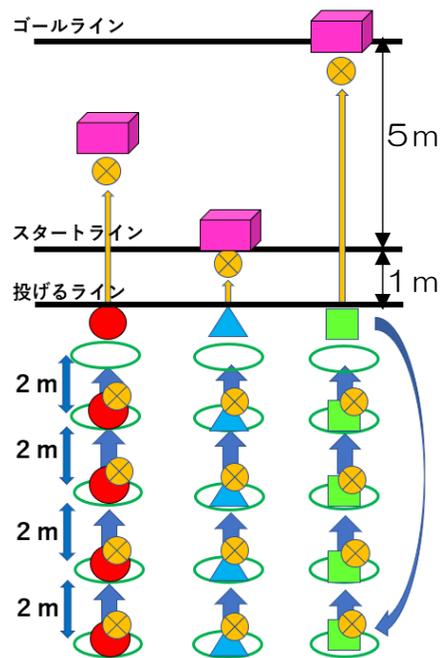


# コロナ禍におけるゲーム（的当てゲーム） キャリー・ザ・ターゲット



## このゲームのよさ・身に付けさせたいこと

このゲームは、規則がシンプルなので児童一人一人がもっている力での的当てを楽しみながら集団対集団の特性も味わうことができるゲームです。また、場や勝敗の方法、的にするものの変更など、児童の声や学級の実態に合わせて規則を工夫し、様々な形のゲームに変えていくことができます。『みんなで楽しむことができるゲーム』をつくって楽しんでみてください。

## はじめの規則

- 1チーム5～6人（6～8チーム）
- ボールは一人1個（マイボール制）
- ボールを的に転がし当てて、的を動かす。
- 的に向かって転がしたボールは自分で取りに行く。取ったら最後尾に並び。
- 一人ずつ順番にボールを転がし当て、的が一番早くゴールラインを越えたチームの勝ち。

## 規則の工夫例

- 場（コート）・・・（学級の実態に合わせて）ゴールラインを遠くする。
- 勝敗の方法・・・全員が2回ずつ投げ、的をどれだけ遠くまで運ぶことができたかをチームで競い合う。
- 用具（的）・・・的を大きくしたり小さくしたり、重くしたり軽くしたりする。（形状を変えたり、別のものに変えたりしてもよい）
- 用具（ボール）・・・大小さまざまな種類のボールから自分に合ったボールを選ぶようにする。

## 新しい生活様式を受けての留意点

- ソーシャルディスタンスを保って順番を待つことができるよう、並びところにフラフープやケンステップを置く。
- ゲームの始まりから終わりまでマイボール（一人1個）を使い、用具の共用を避けるようにする。